



写真提供：台東区観光課

入谷朝顔まつり(朝顔市)

毎年、7月の6日～8日の3日間開催。入谷鬼子母神を中心に、言問通り沿いに、120軒の朝顔業者と100軒の露店が並ぶ。入谷の朝顔が有名になったのは、江戸時代後期の文化・文政時代（1804～30）。御徒町の下級武士によって栽培されていた朝顔が、入谷の植木屋によってつくられるようになり、変わり咲き朝顔もふえて、人気を博すようになった。（入谷朝顔まつり公式HPより）

コラム 最新作『夢幻花』をより愉しむために②

物語の舞台を歩く

～入谷・朝顔市～



蒼太が、初恋の人・孝美に出逢ったのが
入谷の朝顔市。まだ朝顔の季節には早いけれど、
二人の歩いた入谷界隈を散策してみると…。





⑤竹隆庵岡埜入谷店の

朝顔まんじゅうと朝顔パイ
看板商品のこごめ大福（左）
朝顔市の時期には生菓子も販売。
こごめ大福のこごめとは、年貢米
にならない「はね米」のこと。

こごめ大福（写真：遠藤宏）



⑥イリヤプラスカフェ
パンケーキがおいしい路
地裏のカフェ。散策後の
お茶にはびったり。

言問通りからスカイツリーを臨む
入谷は上野・鶯谷に近く、また言問通
りを東に進めば、浅草寺の裏手に出る。



正岡子規の句が記された石碑
(鬼子母神境内)



②八千代堂の朝顔せんべい
一年を通じて販売している大
輪朝顔の花の形をした煎餅。



③のだやのうな重
根岸にあった老舗
が、今年二月に鬼子母神前に移転。
物語
のなかで蒲生家は毎年、朝顔市を見た
後、下谷の鰻屋で食事をすることになっ
ている。この地区的鰻屋は、のだやの他
に、④根ざし宮川、三善（マップ外）、下谷
三丁目）がある。

